

資料

郡上蔵版『西洋度量考』

日本計量史学会
編集部会

【解題】

1. 解題担当者のまえがき

この原典紹介と解題は、元来、某会員が担当を申し出て、岩田重雄会員（現在・顧問、前・学会長）提供の原典コピーと参考資料とによる作業を開始し、遠からず本誌に発表する予定になっていたものである。その間、岐阜県郡上郡の郷土史家・杉田安己氏から学会長あて同原典の紹介を望む声が寄せられたので、会長は、作業進行中の旨を回答し、併せて伝記資料のご提供¹⁾を願い紹介内容の充実を図った。たまたま平行して橋本萬平会員から関連論文2篇^{2),3)}の投稿があり、原典紹介への期待はいっそう高まった感があった。

しかし遺憾ながら、その後、前記会員による作業は、別の会員の支援申し出にもかかわらず停滞し、早期完成は困難と目されるに至ったので、取りあえず編集部会の名で紹介と解題の責を果たすこととした。事情ご了解ねがう次第である。

これらの経緯の途上、郡上八幡教育委員会のご配慮により同町立図書館から資料コピーのご提供を受けた。同館をはじめとして、この原典の紹介と解題に関し協力いただいた各位に、厚くお礼を申し述べる。

2. 原典についての従来の主な研究

郡上版『西洋度量考』（青山幸哉撰）と並んで、『度量考』（志筑忠雄稿、馬場佐十郎補修）もしばしば『西洋度量考』と呼ばれ、郡上版と並列に論じられることが多いので、ここで、両者をめぐる従来の研究の略史を述べておく。

今日でも復刻で確認できる古い書誌記載として、大槻如電『新撰洋学年表』（1927/1963）⁴⁾の文化9年の条の『西洋度量考』（馬場佐十郎撰）を挙げるができる。

一方、閲読は容易でないが、Serrurierの書誌に、郡上版『西洋度量考』（1855）に該当する（フランス語の）記載があるという⁵⁾。

日本物理学史研究の分野では、矢島祐利が「度量考」（1812＝文化9年）と郡上版『西洋度量考』（1855＝安政2年）を紹介し論評した（1942）⁶⁾。研究成果の全貌は総合文献⁷⁾に採録されている（1964）。

一方、帝国学士院（現、日本学士院）が1941年に開始した明治前日本科学史編纂事業の一環として、天野清は日本度量衡史を研究し、成果を「科学史研究」と「計量界」に分載したが、没後これら成果の過半が総合文献⁸⁾に採録された際（1964）、追加節の形で初公開された遺稿「西洋の度量衡の研究とこれに原因するわが国度量衡の研究」の中に馬場『西洋度量考』（1812＝文化9年）および青山『西洋度量考』（1855＝安政2年）を挙げていたことが明らかにされた。

後の1966年、蘭学時代のメートル法を考察して、今井榛は『度量考』（志筑稿、馬場補修）の一写本（天理図書館蔵）の付録に「西儀十郎の訳定」として記載された江戸説のメートル系数値が『海上砲術全書』の凡例所載の数値に合うことを注意した⁹⁾。

更に1979年、近世の洋学と海外交渉に関する共同研究で、大森実は志筑『度量考』に関する現存史料5点を点検し、その精査の結果を詳述した⁵⁾が、叙述の前段では、青山『西洋度量考』

および宇田川榕庵『西洋度量考』にも触れている。

最近(1998~2000)、橋本萬平は、私蔵史料群を活用した「西洋度量衡の受容」研究において、志筑『度量考』のもう一つ(いわば第6)の史料もを含めた比較を進め、各史料の系列と背景について、大森⁵⁾への批判も含めた考察を展開し²⁾、また青山『西洋度量考』に触れその背景を考察した³⁾。

なお、近年の総合文献として『洋学史事典』(1984)¹⁰⁾に、「西洋度量考」および「度量考」の2項(担当:大森実)があり、上記の研究^{5),6),7)}の総括と主要文献の列挙がなされている。

加えて、以上の古典と類縁のものとして、次の2文献を吟味しておく。

(1) 年表⁴⁾の天保12年の条に「遠西度秤量考_{尺度考}山路諧孝杉田成卿合訳」が見られる。天野⁸⁾に「山路諧孝／杉田成卿「遠西度秤量考」天保12(1841)」とあるのは、年表⁴⁾の「遠西度秤量考_{尺度考}」を指すものと考えられる。また今井⁹⁾は、次のように書いた。

新撰洋学年表の天保12年の条に「遠西度秤量考・尺度考」(山路諧孝・杉田成卿合訳)というのがみえている。「遠西度秤量考」というのは全くわからなかったが、「尺度考」の方は《中略》2写本が存在し《中略》それは榎里訳尺度表と海上砲術全書凡例尺度抜抄からなっており《後略》

ところで、今井が「尺度考」2写本で見た《エル》(当時のオランダでのメートルの称呼)に対応する日本の尺の値は、以下のとおり:

榎里訳尺度表では、1エルが3尺2寸9分2厘、

海上砲術全書凡例尺度抜抄では、1エルが3尺2寸8分9厘2毛4糸8忽。

今井所見の要旨は次のとおり:3尺2寸9分2厘は京都の念仏尺にかかわる値であり、他方の3尺2寸8分9厘2毛4糸8忽は伊能忠敬の「1度は28里2分」から算出された(余りにも科学的な?)値ではあるが、それが、江戸説として『度

量考』(志筑・馬場)の一写本(天理図書館蔵)の付録に「西儀十郎の訳定」として記載されたことは注目に値する。

* 解題者の注:3尺2寸8分9厘2毛4糸8忽の件は、青山「西洋度量衡」の「忽」の項にも見られる。

(2) 橋本³⁾は、杉田成卿著と推定されている「遠西秤量尺度考」(天保年間)について論じ、その後半の榎里訳尺度表に「1エルは3尺2寸92」とあることに注目しつつも「この数値がどこから引用されたものかもわからない」と指摘している。

3. 青山幸哉略伝^{1),3),6)}

青山幸哉(ゆきしげ¹⁾、ゆきちか³⁾)は、美濃国八幡城主・五代・青山幸礼(ゆきのり)の養子となって第六代を継いだが、もと、本家・丹波篠山藩主・青山因幡守・忠裕の子、忠良(ただよし)の弟として1815(文化12)年に江戸で生まれた。幼名は隼人(はやと)。篠山に在住した時期から蘭学に志し、医師・足立栄建(号は榎山)に師事したが、榎山は、高名の蘭学者・宇田川榕庵の弟である³⁾。幸哉が郡上城に移り、幸礼の遺領四万八千石を継いだのは1838(天保9)年で、寺社奉行、大膳亮を歴任し幕勢にも関与したが、蘭学を続け、書画もよくした。1863(文久3)年、江戸に没した。

4. 「西洋度量衡」の内容要旨

郡上蔵版「西洋度量衡」は、1855(安政2)年に木版本の形で刊行された。25cm×16cm、20丁の和装本である。

序(漢文)は、篠山藩の蘭学者(原文では西洋医学生)足立栄建(号は榎山、前述)の謹撰、安政2年正月と誌されている。「郡上侯の著「西洋度量衡」を拝読したが、各国の度量衡の異同や古今の沿革が分類詳述され、その明瞭さは火を観るようである《中略》。侯はもと我が藩におられ、小生は医術を以てお仕えし、時にオランダ文などお見せしていた。いま十余年を経て政務の余

暇にこの著を仕上げられ云々」とある。

例言は、1798年フランス・スペイン・オランダ・イタリア・デンマークほかの各国の学者が会して新製の度量衡を發議し、1799年その制定をみた*ことを説き、ひいては、度量衡の記述は1800年の前を旧制、後を新制と区別すべきだから、我が国の従来の旧制文献の補いとするため、近年の諸書に散見する新制の事項を増補し、更に私見も加えて刊行する、と方針を述べている。

*解題者の注：メートル法の歴史にいう確定原器が作られた時期を指す。会合に参加した国には、例言の5国のほかスイスも含まれていたが、それ以外は、当時イタリア諸地方に併立していた群小国ばかりであった。

本文の具体的な項目としては、(度)すなわち長さと同面積、(量)すなわち質量と同体積のほか、(数)すなわち個数・ダース・比などと(貨)すなわち貨幣名を収録して、原綴のアルファベット順に配列し、振り仮名付きで見出しとし、欄外に記号を示して分類に資している。原綴の大半はオランダ語(Aam, anker, bundel, bunder等)であるが、ラテン語(Acetabulum, drachma, libra)、英語(gallon)も見られる。「トイセ(toise)」は、フランス単語のオランダ読みと解される。「メトレス(metres)」の見出しに対して「新度量名^{木詳}」としているのは、時代の反映という外はない。

記号の扱い、青山の見解、先行業績との関係などは、原典について研究されたい。

5. 「西洋度量衡」の意義

矢島⁶⁾は、本邦における初期の物理学的研究の成立と発展を叙述するにあたり、志筑忠雄の数理的な力学研究や間重富の測器改良と共に馬場佐十郎の科学的訳業を重視してその作品「度量考」を取り上げ、それと併せて青山「西洋度量考」を紹介した。青山作品の背景に志筑を想定している点は他の論者と共通している。ただし矢島は、この文献の社会的な意義その他には余り

触れていない。

天野⁸⁾は、馬場「西洋度量考」、山路・杉田「遠西度秤量考」と並べて青山「西洋度量考」を挙げ、これらを一括して

西洋の度量衡に関する研究書(というよりはむしろ換算表の類)

と評し、加えて、これらのほか

各種の砲術書には多くの詳細な換算表が載せられていた。

しかしこの場合換算の基礎になる本邦の尺度そのものがきわめて不正確なので、この点多くのものに不都合を感じさせていた。

と、適切な状況判断を述べた。

後の橋本⁹⁾は、青山が「度量考」すなわち一般に志筑稿・馬場補注の本と推定されている文献を利用したにもかかわらずそれを「著者不明(長崎訳官と推定される)」という形で扱った点は、理解できないと評した。橋本は更に、青山が語彙を増補する際に宇田川榕庵稿「西洋度量考」からの引き写しをしたのにそのことを自著に明記しなかった点、また、資料名をそのまま借用している点は、不思議であるとしている。ただし榕庵本の語彙配置が無規則だったのに対し青山がアルファベット順を採用した点は、新しい試みであると評価し、「この本が刊本となったことは、多くの人に役立つであろう」と総括した。

6. まとめ

これまで見てきたように、フランスを中心としてメートル系度量衡が創出された18世紀末いご、その知識がオランダから日本に伝えられて各種の日本語文献を産み出したのであるが、19世紀半ば過ぎの青山「西洋度量考」は、そのうち最も広く流布し歓迎されたものと呼べる反面、項目選定にせよ来歴補筆にせよ不徹底な面があったことは否定できない。

今後、それらの点を分析的に研究し、とくに志筑、馬場、宇田川らの先行業績への依存の様相、また遡って、いわゆる長崎系と江戸系の二つのルートを経てオランダおよびフランスの初

期メートル度量衡に通じてゆく経路などを明らかにすることができれば、計量史学上の重要な新知見が集積されるものと思われる。また、更に視点を拡張すれば、郡上藩主・青山が、藩内外の多事の時期、財政窮乏のさ中で、おそらく本家の笹山藩の助力を得つつこの作品を世に送ったその事情¹⁾もまた、今後の研究に値すると言えよう。

文 献

- 1) 杉田安己氏私信(2001年4月22日)および「岐阜県郡上郡 大和町史 通史編 上」(抄) p. 565~568.
- 2) 橋本「西洋度量衡の受容(1)」、「計量史研究」, 20-1(通 21), 1998, p. 1~. 特に p. 3~.
- 3) 橋本「西洋度量衡の受容(3)」、「計量史研究」, 22-1(通 23), 2000, p. 55~. 特に p. 57.
- 4) 大槻如電『新撰洋学年表』, 1927/1963 復刻、柏林社書店、p. 97, p. 126.
- 5) 大森実「志筑忠雄の「度量考」について」、「近世の洋学と海外交渉」、1979、巖南堂書店、p. 110~125.
- 6) 矢島祐利「本邦における初期の物理学的研究」、「科学史研究」、2, 1942, p. 33~.
- 7) 矢島祐利「一。物理学、第二篇第五章」、日本学士院「明治前日本物理化学史」、1964、日本学術振興会、p. 105~107.
- 8) 天野清「五。度量衡、第一章第三節」、日本学士院「明治前日本物理化学史」、1964、日本学術振興会、p. 576~577.
- 9) 今井縡「蘭学時代のメートル法」、「科学史研究」、1966、p. 200~203.
- 10) 日蘭学会編『洋学史事典』、雄松堂出版、1984、p. 392, 508.

量

X
正キセス
セキスタリウス
Kantz / *Agarwala* ト同シ

量

Z
原云四斗四升四合即チ「ラスト三十六分ノ一」

量

ナリト○按ニ「ミット」ト同シ「シケール」ナリ

原云七升四合即チ半「シケール」ナリ
十六ダラマ

西洋度量考終



又曰ク酒漿ヲ量ルニ用フ即チ六「アーム」ニノ我三千
 百四十八貫八百錢ニ當ルト
（ルドウエーグス スタグチー）
Milner's scale 原云六百三十七尺五寸六尺五寸
町六合三寸又云羅馬ノ六百二十五「フット」ナリ
四オ三ナリ
Mulle 原云一弗
フエスチー
Mulle bag 「ロード」ノ四分一
ロード
Mulle half pound 三北半
ロード
Mulle 三「カン」「カン」ハ
ロード
Mulle 二北「ニビ」ハ
ロード
Mulle 又 *Mulle* ト云 原云六分四厘弱
ロード
 ○按ニ一指横徑ノ義渾天儀説ニ曰四横麥粒爲ニ
 指コレ也
ヒンゲル *Mulle* 撮ト譯ス三指ヲ以テ撮ム多クケ
ヒンゲル *Mulle* 大約半ヲ或ハ一ヲ物ニヨリテ同カラズ○昆氏云
 大約一ヲ
ヒンゲル *Mulle* マーチイノ十分一我五オ
ヒンゲル *Mulle* ト同シ
ヒンゲル *Mulle* 原云一尺二分○按ニ諸國不同アリ即チ
ヒンゲル *Mulle* 或云一尺。三分四厘列
ヒンゲル *Mulle* 或云一尺。四分三厘列
 應ハ入爾馬尼亞國中ノ大河ノ名ニノ其河邊ノ諸

地ヲ古ノ世ニ稱ノ列應蘭土ト云此尺法ハ其當時
 ノ制今ニ存セル者ナリト云昆陽漫録ニ列應半尺
 ノ圖アリ其半尺ハ我曲尺五寸一分弱ニ當ル
 ○「コーニンググレイキ、フット」列應蘭土ニ同シ
 ○「アムステルダムセ、フット」原云九寸三分二厘或
 云九寸四分
 ○「フランスフット」原云一尺七分七厘三毛或云一
 尺六分八厘
 ○「エングルセフット」原云一尺。一厘四毛或云
 一尺一分或云全ク我一尺ニ密合ス○原云「ロンド
 シセフット」ハ大約七寸
 W
カウクチー *Mulle* 瓦蘭馬ト同シ即チ十「ゴルレル」ニノ「ロード」
カウクチー *Mulle* ノ十分一北ノ十分一
カウクチー *Mulle* 一會爾立方ヲ云
カウクチー *Mulle*

量

和蘭ノ六フット即チ和蘭ノ半ルデーナリト

原云二百五十六貫錢○按ニトシハ大桶ノ

名ニノ二千北ヲ容ル西洋ニテ海船ノ大小ヲ論ノ

幾敦ト云猶本邦ニテ幾石積ト云ガ如シ先輩云

米一石ハ其量四十貫錢アリ然レバ一敦ハ六石餘ニ

當ルト云又按ニ今長崎ノ譯司一敦ヲ千六百斤ナ

リト云

トシチゴウドス

原云四十貫錢

但萬ギユルドナリ一ギユ

ルドハ文銀四錢ナリ

原云二尺五寸五分

マリーンゴロス二十四ニ當ル

ニ

度

U

ニールガングス

一時行○或云大抵五里

一時行トス又云英吉ノ六十里ハ二十時行ナリト

然レバ英ノ三十里ハ蘭ノ十時行蘭ノ一時行ハ英ノ

三里ナリ又按ニ和蘭大小里法アリ其大里ハ今ノ

一時行ニ近シ

一時行ニ近シ

度 量 度

V

原云六斗七升八合四勺

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

原云五尺一寸

シキツプ ボンド Hundred weight 三百廿ナリ或ノ算ニ三十九貫三百六 十錢ト云	スコツパン 獨乙ニテ十二 ^{オンス} ヲ云	セキスタリユス エキセステス	十八 ^{オンス}	二十箇	九 ^{ドイム} 即チ十二指〇原云七寸六分五 厘卽三 ^{ハン} ドブレードナリ	十七尺五寸	六北	和蘭ノ十六 ^{ミン} ゲレン ^測 油等ヲ 六百五十六錢或云ニ ^{カン} 四二五三八 獨乙ニテハ三十六 ^{オンス} 〇二百九十五錢二分 原云銀五分	兄母十分一 ^裁 三厘ニ毛八弗 銀錢ノ名原云二分或云二分二厘五毛〇	和蘭ニテハ八 ^{ドイ} ト 多ニ通用ス此錢二十 ^{ハ一} ギェルデ
--	-----------------------------------	-------------------	-------------------	-----	---	-------	----	---	--	--

シニ當ルト云又西客ノ説ニ和蘭ノ一 ^{ストイフル} ハ日本ノ二分五厘ニ當ルト云〇量名八十斤ノ 十二分ノ一ヲ云	ハ ^{ステ} カン子 ^ン 薪等ノ 原云二十四錢又三才韻譜二十錢ト云	或曰一合或曰二 ^ク	茶匙 可喜匙ニ同シ原云三十滴或曰 塩類或ハ重キ散藥ハ半錢或ハ二 ^ノ ヲ容ル輕キ散 藥ハ十五 ^ノ ヨリ二十五 ^ノ ヲ容ル 昆氏云三十滴或半錢ヲ容ル	二百 ^{ボス} セン 原云六尺一寸二分或云六尺一寸五 分 ^{和蘭} 一尺ヲ我 ^ノ 一尺〇ニ〇又云佛 ^蘭 西 ^ノ 一 ^ル テ
--	--	----------------------	--	---

量 貨

ろヲ一々九撮ハモセ又鈴林必携ニ「カ」ノ六分。
 五トノ算スル所ナリ
 六二五ナリト云
 原云銀三十七錢八分
 封度ハ此ヲ記號トス名考ニ略ノ地ニ作ル
 此書亦コレニ從フ○原云和蘭佛蘭西共ニ同ク九
 十八錢四分ニ當ルト○按ニ從來雜貨ハ十六ろニ
 ノ百二十八錢也藥局藥秤ハ十二ろニ九十六錢
 ナリ羅馬モ藥秤ニ同シト云ハ一ろヲ一錢ニ當ル
 筭ナリ名補云雜貨ノ秤量ハ坊間商賈ノ通用スル
 所ナリ新制ハ蒸餾水把爾半立方ノ重ヲ封度トシ
 此ニ基テ其他ヲ定ムト依之念佛尺ノ寸立方ノ容
 器數様ヲ造リ蒸餾水ヲ盛テ親ヲ精ク稱リ試ルニ
 其重我七錢五分アリ今之ニ據テ筭スルニ彼把爾
 半立方ノ蒸餾水ハ我二百六十六錢八分一厘四毛
 四弗ニ當ル此ヲ雜貨封度トス即チ千瓦蘭馬ナリ
 穩斯羅獨瓦蘭馬等是ヨリ算出ス又藥品秤量ハ千
 八百十七年^{文化十}和蘭王國中ニ令ノ舊制ノ藥秤
 ヲ改革ス其制商賈通用封度ノ八分ノ三ヲ以テ新
 制藥秤ノ封度トスト云即チ新藥秤封度ハ三百七
 十五瓦蘭馬ニノ我百錢零零五厘五毛強舊藥秤

數 貨 量 量 貨 貨

封度ハ三百六十九瓦蘭馬一二七ニノ我九十八錢
 四分八厘八毛強ニ當ル藥秤ノろヲ刃氏等皆新舊
 ノ別アリ各條ニ出
 原云銀四錢
 原云大約銀四十八錢○按ニ英吉錢
 ノ名大約和蘭ノ十二「ギルド」ニ當ル
 四十北
 百三十「カン」麥酒等
 獨乙ニテ三十六ろヲ云
 十二「ステカン」子
 R
 伊^{イス}把^バ尼^ニ亞^ア銀錢ノ名重大約半「^カ」又
 金粉ヲ量ルニ用又金一片ヲモ云
 紙一束○按ニ物料ヲ結束スル細キ革條

弗蘭馬^{ラム}二五^{三厘}八毛許^{三厘}舊標^ス斯^ハ三十九^瓦蘭馬^{七六}八^瓦
 錢二分零^〇度ニ用ル^片ハ「ドイム」ニ同シ
 原云銀一錢
 原云銀五厘^〇按ニ法爾馬^ニ二兌多^ニ當ル
 原云一斛三斗一升或云九
 斗五升四合^〇按ニ「シヨノール」ニ四萬五千七百二十
 錢ヲ容ル^{酒桶}ノ名ト云又曰六「アンケル」ナリト
 レバ一斗九升八合ナリ又或說ニ百二十五「カント」
 云
 銀十八錢
 西書ニ咬啣吧諸方ノ道程表ア
 百「ルーテ」
 皆「パール」ヲ以テス此方ノ町ト云者ニ近シ
 按ニ和蘭新尺我三寸三分ニ當ル^{元亨堂及}〇名補

云掌ト譯ス會^ルノ十分一^我三寸八分八厘^即チ十
 「ドイム」ナリ
 食匙ノ四分一ヲ容ル^{酒水}ハ
 一錢五分舍^利別ハ二錢
 一步ト譯ス即チ三「フット」ナリ^〇按ニ「ヒュブ」子
 曰馬^ニテ云片ハ二脰ヲ舉テ又二脰ヲ舉ル間ヲ
 云又舞樂ノ足拍子ヲ謂フト^〇或曰千「バス」ハ五百
 十間町ニノ八丁五合
 伊^ス把^バ尼^ニ亞^ア錢ノ名大約銀十錢許
 原云銀一厘二毛五弗^〇按ニ小黃銅錢
 ノ名經リ六分重サ二分五厘アリト西洋錢譜ニ出
 ツ
 又「ピコル」ニ作ル^百「カチ」或云百二
 十五^北按ニ米穀油鉛鉄香料色木等ヲ量ルニ用
 フ^〇原云百斤
 原云三合九勺七撮半^〇按ニ諸國不同アリ
 和蘭ニテハ一「彬篤」ヲ二十「トス」^{百六十}「ロツテ」
 ル^{同上}佛蘭西ハ三十二「ヲ」^合三十二「撮」^〇
 分^〇「ウトレキ」トハ十四「ヲ」^合七十八「撮」^ニ英吉
 八十六^ヲ三合一勺八撮^〇「ドル」デレク^ト同上^水一

量 (Measurement) 度 (Degree)

ハ五斗九升三合トアリ穀量ハ三斗二升許トアリ
○按ニ今ノ冊屈ト同シ十シケールナリ或云十シ
ケールハ百ゴツフナリト

Minster

原云一斛三斗一升

Mulle

原云六勺六才餘ニハルシイ也

Mulle

里ト譯ス○意大利亞ハ列應尺五千尺ヲ一

里トス 原云六尺五寸間ニテ ○佛蘭西ハ列應尺一

萬五千七百五十尺ヲ一里トス 原云六尺五寸間ニ

勺余六尺間ニ 或云佛蘭西モ大中小三等ノ里法ア

テ三十四町 此ニ云所ハ蓋其大里法ナリト ○獨乙ノ大里法

ハ列應尺ニテ二萬五千尺中里法ハ二萬二千五百

尺小里法ハ二萬尺 原云六尺間ニテ一里三十一町

里ニ當ルト蓋シ此 ○英吉利ハ列應尺五千四百五

十四尺ヲ以テ一里トス 原云六尺間ニテ十六町五

ノ里法大抵意大利 ○和蘭ハ二萬四千尺ヲ以テ一

里トス ○按ニ山村氏曰和蘭ノ里法入爾馬尼亞

獨乙ト異ナリ然レ和蘭輿地ノヲ記シタル諸書

ニ諸國ノ大小廣狹ヲ計ルニ入爾馬尼亞ノ里法ヲ

用テ書スル者ノミ多シゼーアトラスノ如キ和蘭
ノ都府アムステルダム所刻ナリト雖凡其諸圖ハ

量 (Measurement)

クバ入爾馬尼亞佛蘭西伊斯把你亞等ノ里法ニテ
度ヲ測ル者ノミヲ記ノ其本國ノ里法ヲ記サズ思
ニ蓋和蘭モト自己所定ノ里法アリト雖凡獨乙ハ
其宗國ニノ且古ヨリ歐羅巴正統ノ帝國ナレバ其
法制ヲ遵奉ノ其國人々獨乙ノ制ヲ用テ記ス者便
利ナルニ因テナルベシ ○名補ニ云新制百耳埒ヲ
一迷爾一里トス我九町八間八寸九分許ナリト

量 (Measurement)

ノスセル N
獨乙ノ十八馬

ラムカン 0
カン
同シ

十エンゲルス也又ポントノ十六分一藥秤ポント
ノ十三分一也ト ○按ニ名考ニ八錢二分トス又名
補ニ云雜貨ノ穩斯ハ封度ノ十分一分我二十六錢六

M

リニイ *Li-ni-i* ハ *Li-ni-i* ニ同シ
 原云無分七厘強〇十二分寸ノ一或云一指
 ノ八分一大約横麥粒
 リットレ *Li-tto-re* 又 *Li-tto-re* ニ作ル 百六彬篤
 ロート *Lo-ot* 原云半弓即千四錢〇按ニ新羅獨ハ弓ノ十
 分一ニ我二錢六分六厘八毛一弗四四ト云

マーシコング *Ma-shi-ko-n-gu* *Ma-co* 罌粟粒〇原云「*Fi-m*」六十四分ノ
 一ニノ四厘弱ニ當ル或云横麥粒四分ノ一
 マース *Ma-ss* 銀一錢或云獨乙ニテハ量名ニノ六十ヲ云
 マート *Ma-ot* 八北
 マーチイ *Ma-chi-i* 十「*Lon-gel-fo-od*」乾液通用ス〇名補云
 マーナイ *Ma-nai* 末苴ハ罕ノ十分一我五勺五才弱
 マルク *Ma-ru-ku* 原云八弓〇或云金銀匠ノ唱ル量名ナリ和
 マリーン *Ma-ri-in* 蘭ノ半北ニ當ル
 マーニイ *Ma-ni-i* 小銀錢ノ名 未詳
 マッセル *Ma-ss-el* 一毛

マンヂェル *Man-je-ru* 或ハ *Man-je-ru* 又 *Man-je-ru* ニ作ル 原云五合三勺
 即チ八「*Mi-us-ki-i*」也ト〇按ニ二彬篤ニメ即チ四十
 弓ナリ
 マンジュラ *Man-ju-ra* 獨乙ニテ用ル量名ナリ通例四十八弓
 トス〇按ニ局方云物料ニ從テ異同アリ水ハ四十
 弓焼酒ハ三十二弓蜂蜜ハ五十七弓阿利機油ハ三
 十五弓ナルガ如シト
 マンシユラ *Man-si-yu-ra* クラルタリ
 マンシユラ *Man-si-yu-ra* 同上ノ四分一
 マット *Ma-ot* 新度量名 未詳
 マルリ *Ma-ru-ri* *Ma-ru-ri* ガラムマ
 マルリ *Ma-ru-ri* 瓦蘭馬ノ千分一
 マルリ *Ma-ru-ri* *Ma-ru-ri* ノメートル 英吉ノ二十五分寸ノ一或ハ血球ノ
 大ラ説テ「*Mi-ru-ri*」メートル「*Bi*」百分一ト云即チ英吉尺
 ノ一寸ヲ五千分セル一ナリ是ヲ血球ノ大トス
 モッキース *Mo-ki-i-s* 一毛 金銀價ノ一毛ナリ
 モルゲン *Mo-ru-ge-n* *Mo-ru-ge-n* 或ハ *Mo-ru-ge-n* ト云 六百「*Lu-de*」平方〇或
 云一摩爾健ハ 本邦六尺間坪ニテ二千五百四十
 六坪一分八厘ナリト
 モルゲン *Mo-ru-ge-n* *Mo-ru-ge-n* 原云六尺五寸間ニテ千百三十坪
 〇或云同間ニテ千三十坪ナリト
 ミュッデ *Mi-yu-ud-e* 原云水八升大槩二升七合船量ノ處ニテ

「^マチイナリ一^バルム立方ノ容ニノ之ヲ乾料ノ
 單初トス名補云新制乾料ノ^コツプハ液料ノ^カシト
 同シ又名考ニ碗ト譯ノ大約一合トスル者ハコレ
 ト異ナルニ似タリ
 コッポイ 小碗ト譯ス大約五勺許
 コールマート 又^コール^コツプ
^コールマート 又^コール^コツプ 炭煤ヲ量ル籠ナリ十
 ニヲ以テ一車トス
 コルレル 瓦^ガ蘭馬ノ十分一ニノ我二厘六毛六弗八
 一四四
 カラート 原云一錢九分九厘九毛八或云二錢
 コロニン 原云銀八錢○或云英吉ノ銀錢^シケルリン
 グノ五ニ當リ和蘭ノ^ストイフル^五十六ニ當ル
 タルニス 原云六合二勺弱^コツプノ六分一○按ニ元
 來陶製ノ飲器ノ名ナリ或ハ銀錫ヲ以テ造ル腹豐
 脹ス大小一定セス然^レ氏^ゴローニンゲン^地ニテハ此
 ヲ以テ葡萄酒麥酒等ヲ販ク片ノ定量トス
 クルースケン 上ニ同シ
 コロニス ギユルデン
^コールマート 譯鍵ニ曰銀四十錢ニ當ル即千十
 「^ギユルデン」ナリト

「^ラスト 原云十六斛○通例四千^北即千二^敦船ノ重
 石一^ラスト^ハ按ニ歐羅巴北方ノ諸國和蘭等ニテ
 二千北ナリ」
 ハ總テ^ラスト^ヲ以テ船ノ載量ヲ論ス猶他國ニテ
 敦^トヲ用ヒ幾何敦ノ船ト稱スルガ如シ○凡ソ^ラス
 トモ他ノ量名ノ如ク地方ニ從テ異同アリ又商賈
 並ニ物料ニ隨テ同シカラス○新制ハ三十冊^屈ニ
 メ我十六石四斗六升三合六勺七才許
 レヤール 銀九分
 レッゲル 三百八十八^{カン}「^アムステルダム」三百六十
 「^カン」^バタ^ヒヤ
 レーベル 匙 ○按ニ茶匙卯匙^可喜^匙食匙等ノ品ア
 リテ容量異同アリ各條ニ詳ナリ但單ニ^レイ^プル
 ト稱スル者ハ食卓上ニ用ル食匙ヲ謂フ^エイト^レイ
 プルノ條ニ詳ナリ○又按ニ原云穀量ニ用ル^レイ
 プル^ハ「^クルースケン」ノ四分一ニノ一合五勺四才
 リ^ラフ^ア 或略メ^リブルト云 封度ノ羅^旬語ニノ封度ト
 同シ

(量)	(度)	(量)	(量)	(度)	(量)	(度)	(量)
<p>カ ン K 二彬篤ナリ○按ニ新制一「バルム」立方ノ</p>	<p>イ タ リ ア ー ン セ メ ー ル Stellensmaß 。七勺四才四 原云六尺五寸間ニテ十三町</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>	<p>ハ ク ト ガ ラ ム マ 三 マ ニ 百 十 二 尺 又 十 分 尺 ノ 一 八 敦 ニ 出 部 石 灰 煤 等 ノ 如 キ 賤 價 ノ 物 料 ヲ 稱 ル ニ 用 フ</p>

(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)	(量)
<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>	<p>原云三升七合即チ「セスリシダ」ノ半○按ニ十</p>

量

量

量

度

貨

量

瓦蘭馬又ウイクチト云名補ニ云羅獨ノ十
 分一我二分六厘六毛八弗一四四〇按ニ「トロムム
 スドルフ」名ノ舍密書ノ凡例ニ曰秤量ハ天下普通
 ナラニ一ヲ要ス近來佛蘭西ニテ新ニ秤量ヲ建ツ
 此ハ周地ノ全徑ヲ四分スル數ニ基クテ以テ萬古
 不易ノ度量ナルベシ此法ヲ建ルニ先ヅ瓦蘭馬十
 ル者ヲ設テ此ヲ度量ノ單位トス即チ一瓦蘭馬ハ
 十六匁又千分匁ノ百二十八ニ當ル或云十五瓦蘭
 馬ハ半匁ナリト尚「ウイタチ」ノ條ヲ參考スベシ
 同シ
 Gラ符號トス名考ニ略ノ匁ニ作ル刀ニ
 十分ノ一或云大約胡椒粒ノ重或云大麥ノ重〇原
 云一厘六毛六ミ〇按ニ獨乙ノ匁ハろ六十分ノ
 一〇八三三佛蘭西ノ匁ハろ七十二分ノ一〇毛ニ三
 一藥局ノ匁ハ獨乙ニ同シ〇新匁ハ瓦蘭馬ノ千分
 ノ六十五我一厘七毛三弗強舊匁ハ瓦蘭馬ノ千分
 ノ六十四我一厘七毛一弗弱
 一指四分一 足腫六分一
 十二分ノ一
 同シ

數 量 度 量 數

貨 貨

百二十箇
 三ヲ
 同シ
 五ヲ
 銀錢ノ名〇按ニ獨乙ニテ物價ヲ算スルニ幾レイ
 キスダールデル「幾」ゴロスト云猶 本邦ニテ幾錢
 幾分ト云ガ如シ一「レイ」キス「タール」デルノ二十四
 分ノ一ナリ「ゴロス」二十四ヲ以テ「レイ」キス一枚ニ
 換フ獨乙ノ「レイ」キス五枚ハ和蘭ノ十「ギ」ルデンニ
 當ル和蘭ノ十「ギ」ルデンハ 本邦ノ銀五十錢ニ當
 ルト云ニ據「バー」レイ「キス」ハ 本邦ノ銀十錢ナリ
 十錢ノ二十四分ノ一即チ「ゴロス」ナリ
 原云銀四十六錢二分
 原云銀四錢〇按ニ和蘭ノ一「ギ」ルドハ二
 十「ストイフル」ニノ即チ我四錢五分ニ當ル又獨乙
 ノ「レイ」キスダール「デル」ノ半ニ當ルト云

グニ當ルト或云此錢八箇ヲ以テ一「ストイフル」ニ
 當ト○按ニ西洋ノ俗至賤ノ品ヲ朝テ一兌多ノ價
 モナシナド云不當一文錢ト言ガ如シ西洋錢譜ニ
 哇呱邊ニ通用スル兌多ヲ載ス徑リ七分五厘重サ
 一錢一分トアリ○原云兌多ハ掛目一錢アリト

E

エイト
 レーベル
 Spoon

食匙

大約半ヲ容ル又云二百滴ヲ

容ル○按ニ西書云水、麥酒、葡萄酒等ハ三錢ナリ舍
 利別ハ四錢ナリ物料ニ從テ異同アリト然レ此其
 大崖ヲ云ノミ匙ハモト量器ニアラザレバナリ嘗
 テ舶來ノ食匙ヲ取テ稱試ルニ水五錢ヲ容ル者ア
 リ其他些ヅ、ノ大小アリ

量

エイト
 レーベル
 Spoon
 卵題
 コーヒー
 レーベル
 Spoon
 ニ同シ

或ハ「*egg mark*」ト云 會爾 原云一尺二寸七分
 五厘○或曰會爾ハ地ニ從テ不同アリ長崎ニテ絹
 布毛布ヲ度ル者ハ我曲尺ニテ二尺二寸五分八七
 五也又千七百八十年ノ咬留吧曆ニ載ル所ヲ以テ

量

原云四錢
 エンゲル
 原云四錢
 エンゲル
 二十分一即千三十二瓦○原云三十

度

一肘 一「*foot*」半 原云一尺五

量

為一「*foot*」是ナリ

量

或云水三「*foot*」立方ハ一「*emmel*」半許ナリト

量

原云三

數 量 量 度 量 度 量 貨

D
 原云銀六錢○按ニ和蘭獨^{ドイツ}ニ通用ス
 銀錢ノ名但數種アリ
 按ニ佛蘭私所用藥量ノ名即チ二
 半又八^{ライン}半或云ニ^{ライン}二十四^{ライン}又三分^{ライン}一○二
 テカガラムマハ五^{ライン}十七^{ライン}〇二十四^{ライン}デカガラム
 マハ大約七^{ライン}一^{ライン}〇三十^{ライン}テカガラムマハ大約九
 〇十^{ライン}ニ當ル
 〇十三^{ライン}デ
 テカガラムマ十分ノ一
 シガラムメハ大約二十四^{ライン}ニ當ル
 五^{ライン}兒母立方○按ニ原來ハ小液量器ナ
 リ蓋ナシ其形カ^{ライン}ノ如シ把^{ライン}里私常用ノ^{ライン}彬^{ライン}薦^{ライン}十六
 分ノ一ヲ容ル
 嘆吉ノ四十寸^{ライン}ヲ十分スル者
 原云一合一勺七撮
 二^{ライン}彬^{ライン}薦^{ライン}半
 二^{ライン}〇半^{ライン}
 十二箇○原云一連

貨 度 貨 貨 量 數 量

〇補ニ新^{ライン}達^{ライン}刺^{ライン}屈^{ライン}末^{ライン}ハ三^{ライン}瓦^{ライン}蘭^{ライン}馬^{ライン}九^{ライン}零^{ライン}六
 我^{ライン}一^{ライン}錢^{ライン}零^{ライン}四^{ライン} 舊^{ライン}達^{ライン}刺^{ライン}屈^{ライン}末^{ライン}ハ三^{ライン}瓦^{ライン}蘭^{ライン}馬^{ライン}八^{ライン}四^{ライン}五^{ライン} 我^{ライン}一^{ライン}錢^{ライン}
 厘^{ライン}二^{ライン}毛^{ライン}強^{ライン} 六^{ライン}毛^{ライン}
 四^{ライン}分ノ内一分ヲ除キ殘リ三分
 一滴○通例半^{ライン}氏^{ライン}或一^{ライン}氏^{ライン}ノ者アリ
 原云銀四分
 金錢ノ名○大約五^{ライン}ギ^{ライン}ル^{ライン}ド^{ライン}五^{ライン}ストイフル
 山^{ライン}村^{ライン}昌^{ライン}永^{ライン}ノ算ニ銀二十一
 錢ト云○原云銀二十錢即チ五^{ライン}ギ^{ライン}ル^{ライン}ド^{ライン}ニ當ル
 銀錢ノ名○原云十二錢二分○山村氏ノ
 算ニ十二錢六分ト云○金ノ^{ライン}デ^{ライン}カ^{ライン}ト^{ライン}ン^{ライン}アリ六十錢
 ニ當ルト云
 古來一寸ト譯ス十二分尺ノ一ナリ○原云
 八分五厘○按ニ列^{ライン}墨^{ライン}列^{ライン}乙^{ライン}ノ書ニ云一足^{ライン}脰^{ライン}ノ濶^{ライン}サ
 即チ一横指又三分横指ノ一此^{ライン}其^{ライン}大^{ライン}略^{ライン}ナリト○又
 按ニ新尺ハ三分二厘八毛八弗八九弱ト云即チ把^{ライン}
 兩^{ライン}半^{ライン}ノ十分一ナリ
 小銅錢ノ名○原云二厘五毛但ニ^{ライン}ペン^{ライン}ニン

(度) (量) (貨) (量) (量) (貨) (量) (度)

ケヲ云 大約十二握 按ニ譯鍵ニ一〇
 或ハ一東ト譯ス
 百「*ル*」^ル「*デ*」^デ平方或云一萬「*エル*」^{エル}平方 按ニ譯
 十四丈又ニ十二丈
 方ノ田ナリト云
 スコット、ランド「*イール*」^{イール}、ランド「*共*」^共ニテハ十
 ハガルロシヲ云

C

カレート 四「*ベイン*」^{ベイン}
 カスシイ 一厘
 カネセス 一厘 本邦ノ金
 銀價ナリ
 カチナイ 又 カチナイ 百六十錢 ○按ニ東方諸國ヨリ茶
 葉ヲ鉛筒ニ固封ノ歐羅巴ニ致ス其鉛筒ヲ「*カチ*」^{カチ}
 ト云百六十錢ヲ容ル故ニ先輩此方ノ百六十目介
 トス
 センテナール 諸地ニテ云所大約百北^{ポント}或云山量八百
 十北^{ポント}
 センチメートル 啖吉ノ四十寸ヲ百分スル者
 センツ 和蘭通用錢ノ名 ○半^{ギルデン}爾甸百分ノ一即チ我

(度) (量) (貨) (量) (量) (貨) (量) (度)

四厘五毛ニ當ル
 センチリイテル 半^{ドイム}兌母立方 ○譬ハ五「*セン*」^{セン}チリイテルス
Centimeter ハ二兌母半立方、三「*セン*」^{セン}チリイテルスハ一兌母半立
 方ナリ
 シアチニス 小酒蓋 ○一「*オニス*」^{オニス}半ヨリ二「*オニス*」^{オニス}半ニ至ル
Maat コーヒー「*ス*」^ス 可^ポ喜^ヒ匙 ○即チ食匙ノ四分一或云五
 分一 ○按ニ水酒等ハ七分二厘或云大約三十滴ヲ
 容ル舎利別ハ一錢ヲ容ル今大可喜匙アリ三錢ヲ
 容ルコレト同カラス
 コーヒー「*ホル*」^{ホル} 可^ポ喜^ヒ蓋即チ一「*オニス*」^{オニス}半
Coffee cup 一分 我幾錢幾分ノ
Concubyn 一分 金銀價ナリ
Congois 原云往古ノ水量ナリ今モ啖吉ニテ用
 フ葡萄酒八十^ポ北^ポ一貫二百 油ハ九^ポ北^ポ十二錢 五十ナリ
 今啖吉ニテハ八^ポ彬^ポ篤^ポトス
 コルデ 一會爾立方
Carre コライラ 七十二^ポろ
Carre キユビキ 一兌母立方
Carre キユビキ フー 一「*フ*」^フ「*ト*」^ト立方 ○
Cubic foot 又 *Cubic foot* 一「*フ*」^フ「*ト*」^ト立方 ○
 按ニ各國不同アリ「*フ*」^フ「*ト*」^トノ條ヲ參考スベシ

西洋度量考

郡上城主青山幸哉 撰 臣中泉 晋 謹校

川村直匡 金井清緝

量

A 九十「カン」文化十四年バタロヤ曆所
和蘭ノ百六十「ミンゲル」載カシノ條ト參考スベシ十四貫八百錢○按ニ咬喇

巴曆云燒酒一「アーム」八百二十八「ミンゲル」也蔓菁油
一「アーム」二百二十「ミンゲル」也ト

六ト云

量

原云一厘二毛五弗○譯鍵ニ一厘六毛六糸

量

十八ろ 羅瑪古代ノ量名ナリ

量

四十六北六ろ三ろ一刃十六尺ナリ○

按ニ羅瑪古代ノ量名ナリ「アーム」バラハ脇ニ兩耳アル
桶ノ名ナリ○「チラス」コルデス名ノ算ニ八十北

量

和蘭ノ四十「ミンゲル」即チ我十三貫ウト

八十北蜜ハ百八十北ナリト云

量

レクト地ニテハ二十二「カン」ナリト云
腕ヲ以テ抱持スベキ量○昆氏云大約
十二握即チ六ろ

B

麥酒蓋○大約四十錢

小麥酒蓋○大約五六勺

銀一分五厘或云銅錢六分

銀二分五厘

紙二十四葉即チ一帖

紙一葉

原云九五合○按ニ名考云尋常硝子ノ圓腹

二十北

長サ十八「フット」高六「フット」

積薪尚「ファーデム」ノ條ヲ參考スベシ

「カン」ノ六分一八四

按ニ腕ヲ曲テ腰ニアテ其肘間ニ夾ムタ

シ故ニ晩近ノ諸書ニ散見スル者ヲ摘出ノ各條ニ
 増補シ聊寡人ノ管見ヲ附シテ西洋度量考ト名ケ
 梓ニ上セテ藩ノ子弟ニ頒ツ謬誤尚多カルベシ請
 フ識者コレヲ正セ

一 度量ノ名目尚遺漏多シ故ニ豫ノ各條ノ下ニ空格
 二三行ヲ殘シテ學者得ルニ隨テ缺ヲ補フノ地ト
 ス

一 錢貨ハ度量ニ關リ員數ノ名目モ亦此科中ニ屬ス
 故ニ併セテ收入ス(度量)(貨數)ノ符ヲ每條ノ頭ニ標
 ス

一 書中原曰ト云者ハ寫本ノ原本ヲ指ス又遠西醫方
 名物考及ビ同書ノ補遺ニ載ル者新制ノ度量ヲ云
 一詳ナルハ之ヲ採用ス略ノ名考名補ト云テ引用
 ス

一 衡量ノ封度穩斯達刺屈末須屈爾百兒傑列乙等ハ
 元來西洋ニ記號ノ符字アリ名物考ノ略字ニ從テ
 コレヲ用フ即チ北(ボント)ヲオンス(ダ)ラクマ
 刃(スタ)ルベル(ゲ)レイ(ン)等ナリ學者豫ノ諳記ス
 ベシ

一 此書ノ原本和蘭ノ文字「アベセ」ノ順ニ從テ編次シ

蘭字ヲ掲ク今 皇朝ニ於テハイロハノ順次ニ編
 集スベキガ如クナレハ西洋ノ字音タトヘバ「セ」ノ
 字ヲ「セ」ト讀ム所アリ或ハ「カ」ト讀ミ「シ」ト讀ミ又「コ」
 ト讀ム所アリ各音母ノ接合ニ依テ呼音異ナレハ
 原字ハ「C」ノ字ナレバコレヲ和音ニ從テ各條ニ收
 ノ難シ故ニ原本ノマ、ア「ベセ」ノ順ニ從ヒ又蘭字
 ヲ以テ原文ヲ舉ゲ傍ニ假名ヲ付スコレ「バ」ヲ得ザ
 ルニ出ツ覽者怪ムト勿レ

安政元年十二月來章堂主人誌

受而讀之。彼各國同異。古今沿革。條分縷析。瞭如觀火。吾有志而未及者。已優為之。真足以惠士林而傳後世也。候初在我藩也。標日以刀圭侍左右。時々書唱蘭文。以進。今十許年。則視政之餘。能有此著。私心不堪恭喟歎服之至。及刻成。奉命係以鄙言云。

篠山西洋醫學士足立標

榮建謹撰



男 惺齋敬 拜書

西洋度量考

例言

一 夫尺度量衡ハ天文地理ノ測算ヨリ兵學炮術ヲ始
 ノ算法醫方其他百般ノ工技商賈交易ノ途ニ至ル
 マテ資テ根源トセザルナシ然バ其關係豈微ナラ
 シヤ故ニ和漢古今度量ノ變革アリテ今ニ於テハ
 古ノ尺度知リ難ク量衡算ス可ラザル者アリ西洋
 ノ如キ從來諸國ノ度量一定セス纔ニ千七百九十
 八年寛政十年佛蘭西フランス伊斯坦尼亞イスタンブール和蘭意イタリア亞第那瑪アディナマ
 爾加等各國ノ學士集會ノ闔國度量ノ舊制ヲ改革
 シ新ニ歐羅巴諸國通用新制ノ度量ヲ建ント議リ
 千七百九十九年寛政十一年群賢ノ衆議一決シ其制全
 ク成ルト云然バ千八百年前ノ著書ニ係ル者ハ舊
 制ヲ用ベク千八百年以來ノ書ニ載ル所ノ者ハ新
 制ニ從フベシ書籍ニ古今アリ度量ニ新舊アリ此
 是考アル所以ナリ
 一 此書原著者ノ姓名ナク唯度量考ト題セル寫本一
 卷アリ嘗テ書厨ニ藏ノ西洋炮術兵學ノ書等ヲ讀
 ノ資トナスコト少カラズ思ニ長崎譯官ノ手ニ出ル
 者ナラン然レ皆舊制ニノ近來ノ制ト異ナル者多

安政二年乙卯春新彫

西洋度量考

全冊

郡上藏版

西洋度量考

書肆 青藜閣發行

序

度量豈易言。大寶令所載。及周漢異同。固非吾輩所得知也。至夫西洋制度。則家學緒餘。不可不講究而辨明也。獨苦彼中各國殊制。世有沿革。固不可循名按實。執一槩百也。是以臨事往往。有望洋之歎。竊謂不特吾輩為然也。當今列國方修船艦碩燬之政。一取法於彼。則其鑄造硝彈之度。架車放射之法。舍度量何所取準。故其說一差。則貽害也大矣。余嘗欲蒐輯群書。會通古今。以成一書。而未遑及也。頃者 郡上候。著西洋度量考。標